Web対応型基幹業務パッケージ
ProActive E² User Report

タワーレコード株式会社 様



コーポレートガバナンスの強化と同時に業務効率の向上に成功。よりスピーディに経営状況の把握が可能に。

「NO MUSIC, NO LIFE.」をコーポレート・ボイスと位置づけ、店舗ならびにEコマースでの音楽・映像ソフトの販売、音楽イベント、フリーマガジンの発行など、すべてのお客様に音楽のある豊かな生活を提供することを目指し、さまざまな活動を行っているタワーレコード様。
業務効率の改善、ガバナンスの更なる強化、TCO（Total Cost of Ownership: 総所有コスト）の低減を実現する新システムとして採用したのが、「ProActive E²」でした。

User's Profile

TOWER RECORDS



タワーレコード株式会社

創立:1979年8月
売上高:533億円（2014年2月期決算）
店舗数：87店舗
（タワーレコード:74店舗、タワーミニ:9店舗、
タワーミニ/タワーアニメ:1店舗
TOWER RECORDS CAFE:2店舗、
TOWER RECORDS DINING:1店舗）

事業内容:
- ●タワーレコード、タワーミニ、タワーレコード・オンラインでの音楽ソフト、映像ソフト、書籍、雑誌、その他、雑貨などの販売。
- ●音楽ソフト、映像ソフトの輸入・卸
- ●楽曲および著作物の著作権管理、楽曲の原盤制作
- ●雑貨、衣料品などの企画、製造、販売
- ●イベント、広告宣伝の企画、制作、運営、請負　等
- ●飲食店の経営

導入の背景

ガバナンスの強化、経営状況のスピーディな把握、業務効率の向上が課題。ITの活用による課題解決の必要性が高まる。

タワーレコード様では、会計と人事・給与の各業務を別システムで運用していることや、表計算ソフトを利用した手作業があり、更なる内部統制の強化やスピード経営を支える業務効率の向上を実現するため、業務プロセス改革を必要としていた。そこで、旧システムのサポート終了を機に、各種課題を解決できる新しいシステムの検討を開始した。

課題

1. 更なる内部統制の強化を実現したいが、表計算ソフトなどを用いる「人の手を介する業務」があり、プロセスの改善が困難
2. 会計と人事給与システムが別システムのため、別管理している情報の整合性を見つつ、最新の経営状況を把握する必要があり、作業の効率化を望んでいた
3. 管理対象システム数が多く、TCOが上昇。メンテナンス負荷も高く、システム運用の効率改善が必要だった

選定のポイント

要件との高い適合率、TCO低減効果の高さなどを評価。課題を解決する新システムとして、「ProActive E²」を採用。

新システム選定の3つのポイント

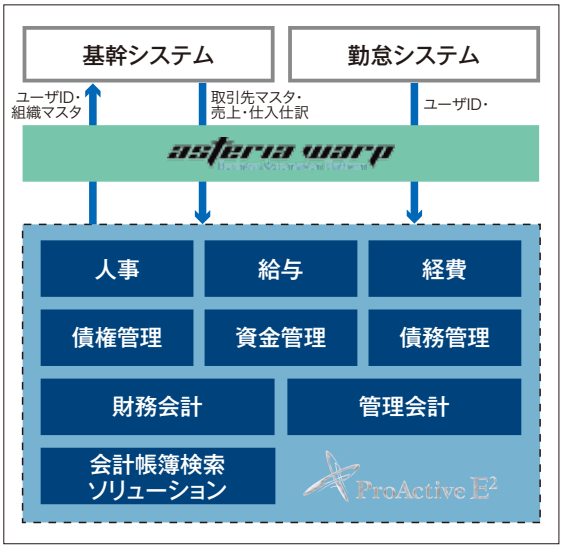
- ●豊富な機能を有し、業務要件への適合率が最も高く、表計算ソフトを用いた手運用の削減や承認ワークフローによる円滑な業務遂行が実現され、業務効率が改善できること
- ●会計と人事給与を同一環境で稼働するため、システム機材の統合による運用コストの低減、システム運用業務の集約によるメンテナンス負荷の軽減が実現できること
- ●ProActive E²以外のシステム連携にEAIツール※を用いるなど、システムの標準機能を活かした導入によるコストを抑えた提案だった。また将来的にも今後の制度改正などにパッケージのバージョンアップで対応でき、環境変化に強いシステムを実現できること

※インフォテリア株式会社の「ASTERIA WARP」で実現

導入のプロセス

大きな問題もなく、予定通りの本番稼働を実現。成功のカギは、「事前の業務フロー作成」、「業務負荷を考慮した導入スケジュール」。

「要件定義の前に、IT部門からユーザ部門へのヒアリングに基づく、業務フローを作成しました。この作業は、IT部門による経理・人事業務の理解促進と、経理・人事部門は、自分たちの業務のフロー化を通じて、イレギュラーな業務を含めた業務の洗い出しを行う事が目的でした。これにより、新システムとのFit&Gap分析をしっかりと行えました」と情報システム2部 部長の片桐氏は当時を振り返る。同社は、少数精鋭で経理・人事業務を推進されているため、各部門の業務負荷を考慮し、12か月間という余裕を持った導入スケジュールを立てた。導入作業の中で特に大変だったのが、旧システムからの人事・給与データの移行だった。可能な限り移行作業を自動化し、新システムへの一括取込など、IT部門やSCSK協力のもと、作業を効率よく進めた。また導入時に発生した課題は、社内の密なコミュニケーションとSCSKの迅速な対応により、確実に解決。大きな問題が発生することなく、当初のスケジュール通り、新システムは本番稼働を迎えた。



導入成功のポイント

- ✓事前に業務の洗い出し、業務フローの整理を行ったこと
- ✓経理・人事部門の業務負荷を考慮した無理のない導入スケジュールを組むことで確実に導入できる環境を整えたこと

導入後の評価

システム導入前の課題を解決。「環境変化に強いシステム基盤」を実現し、ビジネス拡大を永く支えていくことができるシステムが構築できた。

新システムは、検討前の課題を解決し、想定していた効果を発揮していると片桐氏は言う。「人事と会計システムを統合したことで、マスタや伝票データの二重入力などの作業を無くすことができました。また、在庫評価の仕訳伝票の起票や独自フォーマットの請求書発行業務、採用発令情報など、ProActive E²とそれ以外のシステムをEAIツールで連携させることで、多くの手作業を減らすことができました。業務効率の向上と入力ミスの低減につながるだけでなく、内部統制の強化、経営情報のスピーディな把握を実現できました。システム運用面では、稼働後の問合せも少なく、安定稼働しており、満足しております。また、システムを統合のメリットとして、マイナンバー制度のような会計・人事にまたがる法改正において、影響範囲を絞ることができ、対応費用を抑えられることも効果として感じています。」今後への期待として片桐氏は次のように語る。「環境変化への追随や当社の業務効率改善につながる新機能の強化など、ProActive E²の進化に期待しています。またSCSKは、ProActive E²に限らず、様々な製品・サービスを取り扱っており、当社の課題を解決する最適な提案をいただける良いパートナーだと考えています。」今後もタワーレコード様のビジネス拡大を永く支えていくパートナーとして、SCSKとProActive E²への期待は高い。



導入効果のまとめ

- ✓会計・人事・給与の統合により、二重入力を無くすことができ、チェック作業の排除と入力ミス軽減による業務効率向上を実現
- ✓システム統合と、会計・人事・給与とその他システムとのシームレスな連携実現により、手作業を減らし、ガバナンス強化を実現
- ✓システム統合によるメンテナンス負荷の軽減、バージョンアップへの追随が可能なことなど、システムのTCO低減に効果を発揮

●お問合せ先
SCSK株式会社
SCSK カスタマーセンター
フリーコール 0800-500-4000（無料）受付時間 / 月～金 9:00～（祝日、年末年始、当社指定日を除く）
●携帯電話でのお問い合せTEL:03-6670-2990
ProActiveWebサイト：https://proactive.jp/　E-mail：proactive@scsk.jp

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。
2023.1第2版